

今まで以上に
グレードアップ!

令和7年度～山口県の保幼小連携の取組

令和4～6年度の文部科学省委託事業「幼保小の架け橋プログラム事業」が終わりました。事業の成果をもとに、令和7年度からは、取組をグレードアップして、より一層保幼小連携を推進していきます。

重点取組 ①

「山口県架け橋期^(※1)のカリキュラム促進会議」の開催

- 名称を「カリキュラム開発会議」から「カリキュラム促進会議」に改め、各市町が「架け橋期のカリキュラムの作成、検証、改善、活用」をより一層円滑に進めるための方策を協議する会にします。各市町の課題を収集・整理した上で方策を協議することで、各市町の状況に応じた支援をめざします。

「幼保小の架け橋プログラム」について

<https://www.pref.yamaguchi.lg.jp/soshiki/186/264225.html>



重点取組 ②

(※1)「架け橋期」…5歳児から小学校1年生の2年間のこと。
生涯にわたる学びや生活の基盤をつくるために重要な時期。

「架け橋期のコーディネーター」等の派遣

- 保幼小連携研修会や連絡協議会、園内・校内研修の指導助言等、要請に応じて講師派遣できます。
- 「幼児教育・保育長期研修」派遣市町(3市町)…「地域担当コーディネーター」を派遣
- 県内全地域…「県担当コーディネーター(本センター専門分野に係る幼児教育アドバイザー)」を派遣^(※2)

【下関地域担当】
コーディネーター



盛満 恵

【県担当】
コーディネーター



川崎 徳子

【県担当】
コーディネーター



佐伯 公夫

【県担当】
コーディネーター



中邑 至道

【下松地域担当】
コーディネーター



森 徳治

【周防大島
地域担当】
コーディネーター



西山 忍

【R7 長期研修生派遣地域】
下関市・下松市・周防大島町

(※2) アドバイザー等派遣の詳細については、右記二次元コード等「R7アドバイザー等訪問の手引き」を併せてご参照ください。

R7アドバイザー等訪問の手引き

<https://www.pref.yamaguchi.lg.jp/soshiki/186/204533.html>



重点取組 ③

(※3)「幼児教育・保育長期研修」…小学校教員を、保育所・幼稚園・認定こども園に派遣し、乳幼児期の教育及び保育を踏まえた小学校低学年での指導の在り方について研修し、本県における保幼小連携の推進に資する人材を育成する研修。

「保幼小連携研修会」の開催

幼児教育・保育施設や小学校の先生、行政の担当者など、子どもに関わる様々な立場の人が集まって話し合います!!

- 令和6年度「幼児教育・保育長期研修(※3)」派遣教員の研修成果還元の場合として開催します。
- 県と同じ国の事業(幼児教育推進体制を活用した地域の幼児教育の質向上強化事業)指定を受けていた周南市で集大成となる研究大会も開催します。

【所属校:下関市立山の田小学校】
【派遣園:認定こども園泉幼稚園】

日時:1月29日(木) 午前
会場:下関市立中央こども園
下関市教育センター
内容:保育参観、派遣園の取組発表

【所属校:阿武町立阿武小学校】
【派遣園:阿武町立みどり保育園】

日時:6月27日(金) 午後
会場:阿武町立阿武小学校
内容:1年生 公開授業

【R6アンケートから】
普段あまり交流する
機会の無い園の先
生方と交流させて
いただき、自身の指
導の在り方を見つ
め直す機会となっ
た。(小学校)

【周南市幼保こ小の
架け橋プログラム研究推進大会】

日時:11月4日(火) 午後
会場:周南市学び・交流プラザ
内容:事例発表・分科会
基調講演 等

「幼児教育・保育長期研修」について
<https://www.pref.yamaguchi.lg.jp/soshiki/186/264262.html>

【R6アンケートから】
保幼と小学校が互い
に歩み寄りながら、ま
ず「先生を知る」、
「子どもを知る」こと
が必要。そのために
小学校と話し合いの
場をもちたい。(園)



重点取組 ④

「はじめのいっぽ もういっぽ」の活用

- 保幼小連携に関する冊子を発行しました。
- 園と小学校の先生同士や子ども同士の交流、子どもの育ちと学びをつなぐ話し合いの事例等に加え、Q&Aや4コマ漫画等を掲載しており、簡単に、かつ楽しみながら保幼小連携の取組の具体について理解を深め、実践を行うことができるようにしています。
- 乳幼児の育ちと学び支援センターWebページに全面カラー版を掲載しています。

<https://www.pref.yamaguchi.lg.jp/soshiki/186/275693.html>

- 県、市町主催の研修会や市町保幼小連携担当者研修会等において、内容を説明したり掲載されている実践について模擬演習を行ったりして周知を図り、園・小学校、市町が地域の実態に応じて保幼小連携の取組を進めることができるようにしていきます。
- 日々の保育・教育実践をはじめ、会議、研修会等、様々な場でご活用ください。ご活用の際は、センターWebページに掲載しているアンケートへのご協力をお願いします。

右の URL もしくは二次元コードからも回答できます。 <https://forms.office.com/r/6KFpMKR15P>



Q&Aで!

STEP 0 保幼小連携って?
まずは「保幼小連携」に関する素朴な疑問について確認してみましょう。
A1. 園と小学校が連携すると、子どもが安心感をもって園・小学校生活を過ごすことができるようになります。また、子どもだけでなく、保護者も安心することができます。

マンガで!



実践例で!

